

氏名	岩 田 克 美		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 238 号		
学位授与の日付	昭和42年 9 月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	ハムスターに於けるアデノウイルス12型誘発腫瘍の病理形態学的研究		
論文審査委員	教授 小川 勝 士	教授 矢部 芳 郎	教授 妹尾左知丸

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

アデノウイルス12型の発癌性に関する病理形態学的研究に就いては従来詳細な報告が殆んどなされていない。著者はシリアン・ハムスター新生仔の腹腔に本ウイルスを接種して、腫瘍発生過程の経時的観察と腫瘍組織の形態学的解析を行ない、本腫瘍の発生母組織について明確な見解を得た。即ち腫瘍芽は肉眼的にはウイルス接種後18日目頃、顕微鏡的には14日目頃に漿膜下組織及び腹壁筋組織内に多中心性に出現し、それ等は急速に膨張性發育を営み、また周囲組織に浸潤性増殖を示す。腫瘍は炎症反応とは無関係に發育し、且つ常に末梢神経枝に一致して発生する。腫瘍組織は本質的には上皮性々格を示し、基本構造は紡錘形細胞の柵状配列からなるが、屢々乱れて肉腫様の像を呈し多彩となる。種々の組織像を形態学的に分類して各々の特徴を記載した。以上を通じてこの腫瘍は神経外胚葉に由来するもので、恐らく神経節外套細胞乃至 Schwann 細胞を発生母細胞とする極めて未分化な腫瘍であると結論した。

(昭和41年12月30日 細胞学病理学雑誌, 第11巻, 第1号掲載)

論文審査の結果の要旨

本研究はアデノウイルス 12型誘発腫瘍の発癌過程の病理組織学的検索であるが、特に本腫瘍の発生を経時的に追求した最初の研究であり、腫瘍母組織の考察について重要な知見を提供したものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。